

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第46週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は953人（定点あたり28.3）で、前週比114%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

【感染性胃腸炎】

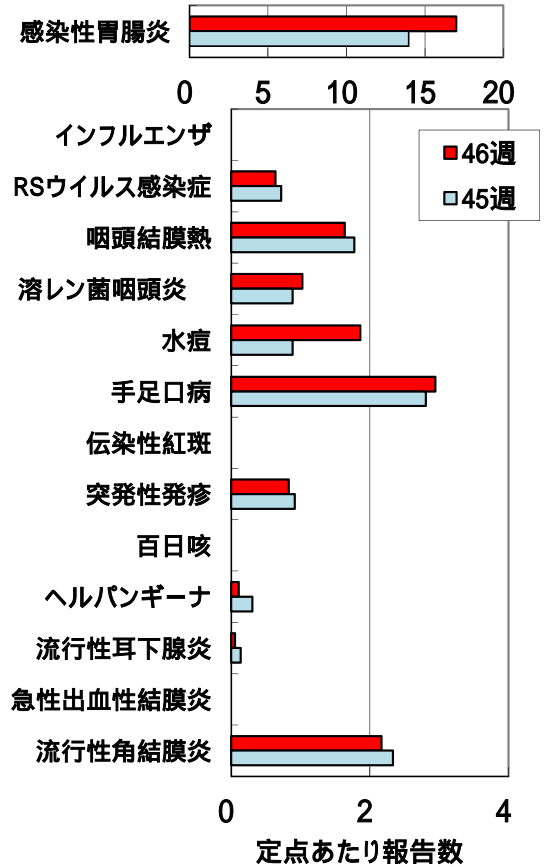
・報告数は612人（17.0）で前週比122%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*（10.9）の約1.6倍である。小林（56.3）、日南（21.0）保健所からの報告が多く、小林保健所管内で大きく増加している。年齢別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

【水痘】

・報告数は67人（1.9）で前週比209%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*（2.0）と同程度である。日向（3.3）、高鍋（2.8）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

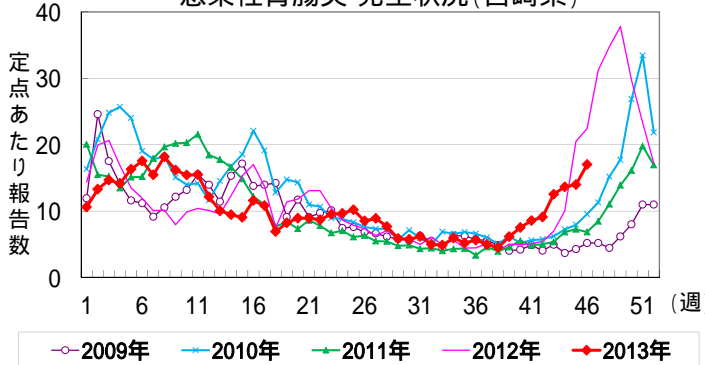
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

(前週との比較)

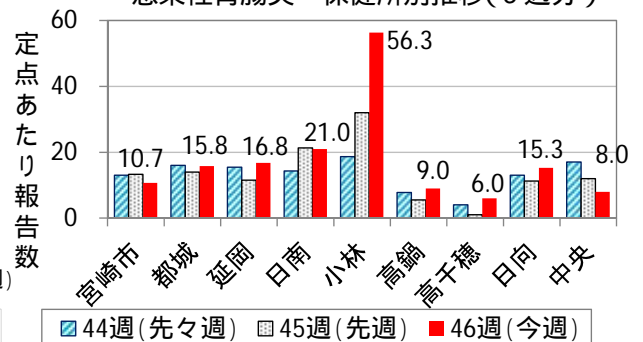


(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

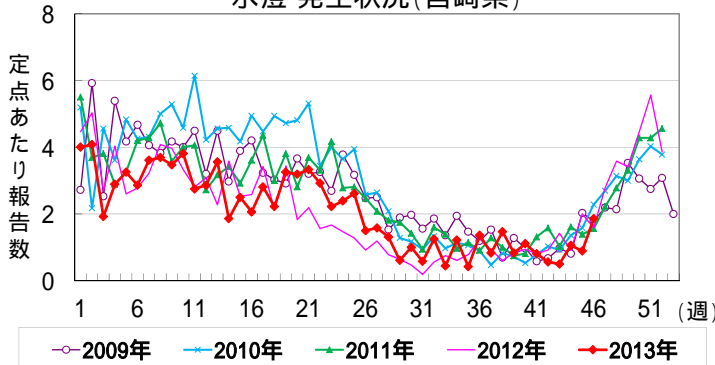
感染性胃腸炎 発生状況 (宮崎県)



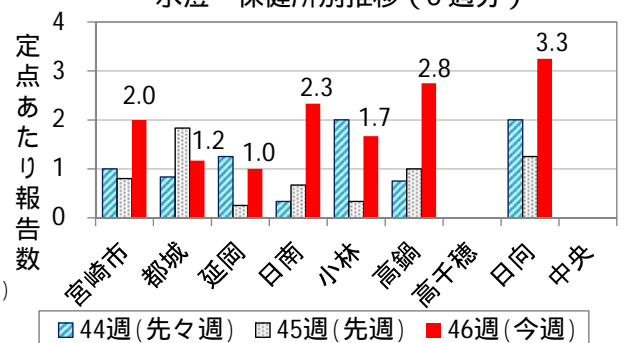
感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



水痘 発生状況 (宮崎県)



水痘 保健所別推移 (3週分)



流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(7.3)、感染性胃腸炎(21.0)、手足口病(7.7)
小林	感染性胃腸炎(56.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・咽頭結膜熱(3.0)
・感染性胃腸炎(20.0)
・手足口病(5.0)

全数把握対象疾患（46週までに届出のあったもの）

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 5 例。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症： つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症： 急性脳炎 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	肺結核	咳
			90 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	咳、発熱、胸痛
		延岡	80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱
			80 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	発熱
			90 歳代	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	2 歳	患者	腹痛、水様性下痢、血便 O血清型: O121 (VT2産生)
4類	つつが虫病	日向	60 歳代	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	急性脳炎	延岡	6 歳	病原体不明	発熱、頭痛、痙攣、意識障害

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2013 年 11 月 17 日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
ライノウイルス	2M	女	2013.9.4	胃腸炎、無熱性けいれん	便、咽頭ぬぐい液	2013.11.8
ライノウイルス	2	男	2013.10.1	上気道炎、風疹様発疹症	咽頭ぬぐい液	2013.11.8
ライノウイルス	1	男	2013.11.7	呼吸器感染症、上気道炎、下気道炎、リンパ節腫脹	咽頭ぬぐい液	2013.11.8

胃腸炎を呈した乳児1名と上気道炎等の症状を呈した幼児2名からライノウイルスが検出された。ライノウイルスの主な臨床所見は頭痛、のどの痛み、鼻詰まり、くしゃみなどである。急性の呼吸器系感染症の50%はライノウイルスによると考えられるが、症状は軽く一般には数日で軽快する。ライノウイルスは一年を通して検出されており、特に秋と春にかけて多く検出されている。

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Vibrio cholerae</i> O1(コレラ菌)	60歳代	男	2013.10.24	下痢、嘔気、嘔吐	便	2013.11.5
<i>Mycobacterium bovis</i> BCG	0~4	女	2013.9.24	リンパ節腫脹(BCG接種後)	膿汁	2013.11.5
<i>Neisseria meningitidis</i> (Y群)	80歳代	男	2013.10.21	発熱(39.6)、ショック症状、低血圧	血液	2013.11.5

下痢、嘔気、嘔吐の症状を呈した海外渡航歴のある60歳代男性から *V. cholerae* O1 エルトール小川型(コレラ菌)が検出された。

コレラ菌はコレラ毒素産生性の血清型O1またはO139の *V. cholerae* であり、O1は型特異因子により小川型と稲葉型および彦島型に細分され、さらに生物型でアジア型とエルトール型に分類される。国立感染症研究所の病原微生物検出情報Vol.32 No.4によると、近年国内で検出されるコレラ菌のほとんどはエルトール小川型であり、今回検出されたものも同一の型である。コレラ菌の検査は従来の培養法に加え、O抗原遺伝子(*rfb*)検出による血清型O1とO139の鑑別およびコレラ毒素遺伝子(*ctxA*)検出に有用なマルチプレックスPCRも開発されており、迅速な診断に有用である。

BCG接種後にリンパ節腫脹を呈した0~4歳の女児から *M. bovis* BCGが検出された。

感染症法において結核は、結核菌群(*M. tuberculosis* complex、ただし *M. bovis* BCGを除く)による感染症と定義されているが、結核菌群と *M. bovis* BCGとの鑑別は同定キットを用いても難しい。 *M. bovis* BCGは結核菌群と異なりRD1という遺伝子領域が欠損していることが知られており、そのことを利用したPCR法が有用である。

発熱、ショック、低血圧の症状を呈した80歳代男性から *N. meningitidis* (Y群)が検出された。

感染症法では、従来 *N. meningitidis* による急性化膿性髄膜炎のことを髄膜炎菌性髄膜炎と定義していたが、平成25年4月1日から *N. meningitidis* による侵襲性感染症のうち本菌が髄液又は血液から検出された感染症を侵襲性髄膜炎菌感染症とすることとなった。

また、届出基準についても、従来の分離同定による病原体の検出に加えPCR法による病原体の遺伝子検出によっても届出可能となった。

全国第45週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は10.2で、前週比94%と減少した。今週増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は528人(0.11)で前週比138%と増加した。沖縄県(0.93)、愛媛県(0.70)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の26%。6-9歳が18%、10-14歳が13%、15-19歳が4%、20歳以上が39%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は12,940人(4.1)で前週比100%と横ばいであった。宮崎県(14.0)、熊本県(8.0)、愛媛県(7.7)からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

全数把握対象疾患(全国第45週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	318例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	31例	腸チフス	1例
	バラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	8例
	デング熱	1例	日本紅斑熱	3例	マラリア	2例
	レジオネラ症	28例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	5例	急性脳炎	1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	15例
	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	23例
	先天性風しん症候群	2例	梅毒	10例	破傷風	1例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	風しん	10例	麻しん	2例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第46週(11月11日～11月17日)

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	26	23	5		6	1		2	1	7	1
	定点あたり	0.72	0.64	0.50	0.00	1.50	0.33	0.00	0.50	1.00	1.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	64	59	9	14	6	22	2	3		3	
	定点あたり	1.78	1.64	0.90	2.33	1.50	7.33	0.67	0.75	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	37	8	3	11	7		1	1	6	
	定点あたり	0.89	1.03	0.80	0.50	2.75	2.33	0.00	0.25	1.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	503	612	107	95	67	63	169	36	6	61	8
	定点あたり	13.97	17.00	10.70	15.83	16.75	21.00	56.33	9.00	6.00	15.25	8.00
水痘	報告数	32	67	20	7	4	7	5	11		13	
	定点あたり	0.89	1.86	2.00	1.17	1.00	2.33	1.67	2.75	0.00	3.25	0.00
手足口病	報告数	101	106	12	22	17	23	11	10		11	
	定点あたり	2.81	2.94	1.20	3.67	4.25	7.67	3.67	2.50	0.00	2.75	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	30	8	4	5	5	1	2		4	1
	定点あたり	0.92	0.83	0.80	0.67	1.25	1.67	0.33	0.50	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	4			2					2	
	定点あたり	0.31	0.11	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	2		1	1						
	定点あたり	0.14	0.06	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	13	11	2							
	定点あたり	2.33	2.17	3.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～46週)

2類感染症	急性灰白髄炎	1例	結核	226例(5)		
3類感染症	コレラ	1例	腸管出血性大腸菌感染症	93例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	つつが虫病	5例(1)	デング熱	3例	日本紅斑熱	10例
	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	7例(1)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	7例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	8例
	破傷風	4例	風しん	23例		

()内は今週届出分、再掲